

B o r d e r   D o w n

01 . Last News (atract)
02 . S.D.F. (select)
03 . Upon the new raid (stage 1)
04 . Prot #1 "Eyes" (boss A)
05 . Girl of Power (stage 2)
06 . Prot #5 "Blade Action" (boss B)
07 . Bye-bye Mars -take.II- (stage3G)
08 . Fleet Game (stage 3RY)
09 . Prot #7 "Illusion" (boss C1)
10 . Prot #2 "Defensive Style" (boss C2)
11 . Why do you come back? (ending A)
12 . One minute of love (not used)
13 . Lost Temple (stage 4A)
14 . Border Line (stage 4B)
15 . Prot #11 "Cage" (boss D)
16 . Snow Fox (stage 5)
17 . Prot #9 "Dragons Lair" (boss E)
18 . Crushing Blow (stage 6A&6B)
19 . Last Prot "Bloom" (boss F)
20 . Rain (stage 6C&6D)
21 . Morning Kisses (last boss)
22 . Shower the Dreams (ending B)
23 . Upon the new raid -reprise- (staff roll)
24 . Walk in the park (name)

25 . Girl of Power - Arrnge
26 . Snow Fox - Arrnge
27 . Upon the new raid - Arrnge



Border Down

Border Down

プログラマ 藤田勝幸

この文章を書いている段階で
Dreamcast版の移植作業の真っ最中
だったりします。
このサウンドトラック同様、皆さんに
楽しんでいただける内容にするべく、
がんばっておりますので
よろしくおねがいします。

Yack.氏作曲の横シューを作る。

メタルブラックに感動してこの業界に入った
私にとって、夢が一つ叶ったお仕事でした。

ソフト屋「でん坊」

時間も人数も決して十分ではないのに、
通常よりボリュームのあるゲームを作ろう
なんて、大馬鹿者ですか？＞俺達

そんなゲームに付き合ってくれるYack.さん
には、ホントに感謝です。

ソフト担当 竹田雅一

自機は赤いですが、三倍でもなんでも
ありません。

後半出てくるコロナ・コロネットは
三倍どころか３分の１です。

キャラ担当 きくちまさみ

苦労して作ったキャラには
怨念が憑いてるかも？

ぜひゲームでもYack.SOUNDを聞きつつ
プレイして、敵キャラを成仏させて
あげて下さい。

グラフィック担当 加藤

ハードな内容にあわせたタッチにして、
ＳＦ小説っぽさを狙ってみましたが
どうだったのでしょうか。

ＥＤの絵をたくさん描いたので全部
見て欲しいです。

キャラクターデザイン かどつかさ

冬に発売したイメージサントラからもう半年以上過ぎたんですよねー。
時が経つのは早いもの。てなわけで待望のオリジナルサントラです！
まずはこのＣＤ及びＤＣ限定版を買っていただいた方々に感謝！
そして、素晴らしい仕事をして下さった渡部氏に感謝！

…思えばここまで来るのに長い、長い道のりでした。予定では12月（マスター予定）までしか資金がないのに、どうしてもリテイクしたい部分が出てきた末、苦渋の選択として「延期＋緊急で下請け仕事を入れて足りない資金を稼ぐ」という荒業を選択したときには、キッカリ3年は寿命が縮みました。
こんなバカな選択を一緒にしてくれたチームの皆に、感謝！です。

サウンドについては、出来上がりもさることながら、出来上がるまでの渡部氏との言葉のキャッチボールが非常に面白かった印象があります。
ぶっちゃけお互い腹の探り合い、というか（笑）。おかげで楽しく仕事をさせていただきました。またやりましょう！

そんなわけで（？）ゲーム自体は至らないところもありますが、個性的な「オモロイ奴」に育ったとは思いますので、末永く、サウンドと共に皆様に愛されればいいなぁ…と願わずにはいられません。

それではまた次の機会に！

ディレクター　マルヤマ

音楽を作る際、「どれだけ自分がのめり込めるか？」を念頭において常に作曲してるのですが、今回はその比率をきもーちプレイヤー側においてたりします。

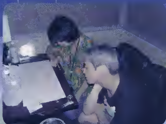
設定その他もろもろの事項をわざとフィルターを通す感じにとどめてみたり、丸山氏との話も半々ぐらいの割合で解釈してみたりと、そこまでしないといつもと変わらない「どえらい方向にぶっ飛びさん」になってしまうなぁと、普通の人が普通に出来る事をわざわざ考えながらやってる私っていったい…。

そんなこんなで出来あがったボーダーダウンの子供達はちょっぴり優等生風味ですが、末永くかわいがって頂ければ幸いです。

最後に、又、例によって私のわがままに付き合ってくれた方々に感謝の気持ちを込めて。

渡部　恭久　-Yack.-









Produced by Shinji Hosoe (SuperSweep co.,ltd)
Recording at Studio Dual Moon / SweepStudio
Mastered at SweepStudio
Composed by Yasuhisa Watanabe -Yack.-(Studio Dual Moon)
Arranged by Shinji Hosoe (SuperSweep co.,ltd) #26
Ayako Saso (SuperSweep co.,ltd) #25
Yousuke Yasui (SuperSweep co.,ltd) #27
Additional Musicians by
Katsumi Yoshihara(Eg) #25,26
Shigeso Sasaki(Dr) #25,26
Designed by Yoko Katoh (LILT)
Super Thanks Hiroyuki Maruyama (G.rev Ltd.)
"BORDER DOWN" ALL Staff

SRIN-1009

